

# 第419回ライフサイエンス分科会

2025年4月17日（木） <6月30日（月）更新版>

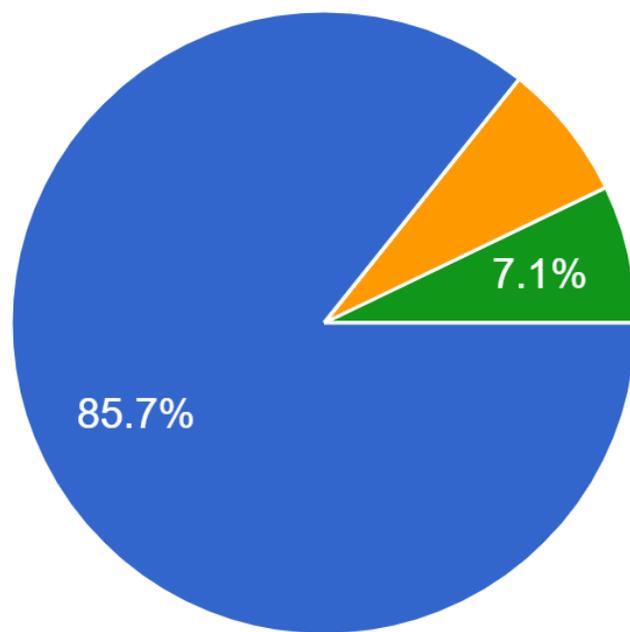
# アジェンダ

- 例会（情報共有）
- アンケート結果とディスカッション
- 運営体制について
- 75周年企画の件

# 運営に関するアンケート

## 今後の会の継続について

14 件の回答



- 継続がよい
- 休会がよい
- 廣谷さんのご希望に沿うのがよいかと思っています。
- 開催回数を減らすのがよい

会の運営に関する意見	その他のご意見	回答
あまり負担のないように継続出来れば良いと思います。		企業
月例会運営グループから離脱し、意見をお伝え出来る立場ではありませんが、幹事会社を増やす等、運営方法の変更を含めた上で継続が可能であればいいなと思います。休会してしまうと再開が難しくなる印象があります。		企業
<p>文献検索でも特許検索でも同様ですが、変化が大きい一方で、社内に籠ってしまえば手元にあるツール・Web検索で大抵のことは解決できてしまうこともあって調査・検索の変化についていけなくなるという状況と感じています。ライフサイエンス分科会の継続については、情報交換できる場、社外との交流の場があるということが有難く、継続していただけると嬉しいです。</p> <p>会の在り方を考えれば、対面開催の方が細かい質問・疑問等も出しやすく、メンバーシップの上でも望ましいと思いますが、遠方のため、Web開催だからこそ参加できるという利点があります。</p> <p>一方で、OUG以外の会での例ですが、対面からWeb開催に移行したことで、話す人と聞く人に分かれてしまいがちになり、相互の情報交換からセミナー調に変化して、主管メンバーが会の運営に苦慮されているような会もあります。</p> <p>年に一度は、対面の会とし、テーマを「ライフサイエンスの現状」や「調査の現状」、「今期の振り返り」など大ぐりにして、情報交換や分科会で紹介されたツールの使用感などを話し合えるような回があってもいいかもしれません。</p>		企業
<p>継続するなら今より回数を減らす。運営の負担を減らして行うほうが良い。</p> <p>負担を考えるとINFOPRO発表は無理かと思いますが、年6回以下でもよいかと思いますが。ただ年1, 2回は対面の会はやりたい。情報交換の場として有効だと思ったので。</p>	個人的に会の参加の利点は、新たなサービスを知ることができる。同種業務の人と知り合えることだと思います。年2回くらい集合があってもよいかと思いました	企業
<p>割り振っていただいた毎回の担当グループが中心になって、次回準備、ご案内、議事録依頼と報告まで行き、適宜、主査と相談や調整を行う。可能であれば、業務時間帯に開催が望ましいが、メンバーの要望があれば、夜間開催も視野にいれてはどうでしょうか。Webページの更新は無理のない範囲で行い、事務局へご依頼いただく。</p>	<p>長らくの主査のご尽力に感謝申し上げます。</p> <p>次回のお話合いで、幹事役2名お願いできたら、主査のご負担を軽減できると思われませんが、難しいようであれば、ひとまず開催回数を隔月にするのはどうでしょうか。</p>	ほか
<p>最近の出席回数が少なく、コメントしづらいですが、廣谷さんはとてもスムーズに運営されていて、感心しています。</p>	<p>今、この時代、誰もがオンラインで情報を取っている時代に、オンラインユーザーという言葉自体が死語になっているのかもしれないと思います。また、メーカーの、特に製薬企業の人参加が少ないのが残念です。</p> <p>このあたりの検討は最低限必要と思います。</p>	ほか

会の運営に関する意見	その他のご意見	回答者
<p>メンバーが減少し、また、メンバーもこれまでと同じように時間を割くことが難しくなっていくことが予想されるため、<b>月1度の頻度で例会を開催するのは難しいのではないかと</b>考えます。<b>メンバーの負担をできるだけ軽減</b>し、OUGに参加することが所属先から認めてもらいやすい環境にするということも念頭に置ければと思います。</p>	<p>例会で外部の方をお招きしてお話し頂く際、当日の参加者が少なくなると（特に企業の方などの場合）お話し頂くメリットが小さくなってしまい、お受けいただくのが難しくなる可能性もでてくると思います。そのため、<b>例会へのゲスト参加を積極的に募る</b>なども必要と感じます。</p>	<p>提供者</p>
<p>今まで通りの継続が難しい場合は、<b>回数を減らすこと（隔月とするなど）</b>を考えつつ、何とか継続できればと思います。</p>	<p><b>連絡係は各企画メンバー</b>が実施することで良いと思います。</p>	<p>提供者</p>
<p>・さらに<b>回数を減らして</b>の運用 ・<b>連絡係は、回の担当者</b>が行う という運用を希望いたします。</p>	<p>まずは<b>回数を減らして</b>の運用を希望しますが、私自身も連絡係を積極的に担ったり、毎回のネタを豊富に持ち合わせてるわけではないため、休会という判断も致し方ないとは考えます。</p>	<p>提供者</p>
<p>文献データベースのバージョンアップやシソーラス改定、新機能追加などの情報得られる機会は<b>継続してほしい</b>です。AIも今後関係してくると思いますので話題が無いわけではないと思います。<b>年2回でもいいです</b>。時期を待たずに開催したほうがよいと思われる話題があれば定期開催+随時開催でもいいと思います。</p>	<p>新しい企業からの参加がなく、決まったメンバーですが<b>情報共有ができてとても助かっております</b>。<b>細々とでも続けていただけるとありがたい</b>です。</p>	<p>提供者</p>
<p>いつも運営いただきありがとうございます。ユーザ・ベンダーそれぞれが集って意見を交換できる、<b>他や単なるユーザ会とは異なる環境で貴重な場</b>と感じます。ただ、会の運営に負担が大きくなってしまふのは問題で、継続のために<b>運営に負荷のかからないようなやり方</b>や負担の軽減などを考える必要もあると思います。（あまり参加もできず具体的な意見もなくすみません）</p>	<p>OUGというグループがライブ以外は休会されてしまっていて、情報入手の手段や情勢もめまぐるしく変化している中で、<b>作成者・利用者双方の意見交換が出来る場は貴重</b>と考えます。</p>	<p>提供者</p>
<p>廣谷様のご尽力あってのライブ分科会です、いつも結局のところご負担が多くなってしまい、申し訳なく思っております。廣谷様も数年前にご所属の変更で環境が変わり、OUGの活動内容と業務との関りも変化がある状況かと思いますが、引き続き牽引していただき大変恐縮でした。</p>	<p>IMICとして連絡係を長く続けてこられたのも、ひとえに歴代の主査の皆様のおかげです。これまで<b>長きにわたり、多くの学びとなりました</b>。退会という事でご迷惑をおかけし、私が何を言う立場でもありませんが、今後につきましては、廣谷様のご希望を最優先にして決めていただければ、メンバーの皆さんも、異存ないのではないかと思います。本当にありがとうございました。</p>	<p>提供者</p>

# アンケート結果から検討

- 継続する
- 回数減らす
- 役割分担の再考
- 連絡係の見直し：  
開催案内は企画Gが行う  
Web掲載担当を置く ①開催案内 ②議事録

# 討議結果

- Zoom設定依頼 まとめて実施する
- Web掲載 事務局対応の可否確認 できるはできるが時間的に困難  
アカウント削除 土屋さん／アカウント作成 佐藤さん 黒沢さん ★
- 連絡係 西内さん
- INFOPRO 今回は見合わせる
- MLのメンテナンス ★  
登録アドレスを連絡、事務局で対応してもらう形
- ML登録者の棚卸を行う

スケジュール・運営体制

# 2025年度スケジュール 案

- 4/17 主査・連絡係
- 5/15 調整月
- 6/19 調整月
- 7/17 1G
- 8月 休み
- 9/18 調整月
- 10/16 2G
- 11/20 調整月
- 12月 INFOPRO
- 1/22 調整月
- 2/19 3G
- 3月 休み

2025 - 2026 (令和7-8年) Calendar

4 2025	5 2025	6 2025
月 火 水 木 金 土 日 31 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 1 2 3 4	月 火 水 木 金 土 日 28 29 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 1	月 火 水 木 金 土 日 26 27 28 29 30 31 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 1 2 3 4 5 6
7 2025	8 2025	9 2025
月 火 水 木 金 土 日 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 1 2 3	月 火 水 木 金 土 日 28 29 30 31 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 1 2 3 4 6
10 2025	11 2025	12 2025
月 火 水 木 金 土 日 29 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 1 2	月 火 水 木 金 土 日 27 28 29 30 31 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 1 2 3 4
1 2026	2 2026	3 2026
月 火 水 木 金 土 日 29 30 31 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 1	月 火 水 木 金 土 日 26 27 28 29 30 31 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 1	月 火 水 木 金 土 日 23 24 25 26 27 28 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 1 2 3 4 5

# 例会開催スケジュール

やること	担当	時期	開催2カ月前	開催1カ月前	開催月	開催翌月
開催内容決定	企画G・ 主査・連絡係（相談対応）	2カ月前				
開催案内	企画G	1カ月前まで				
Web掲載	Web担当	1カ月前まで				
各種調整 （資料手配等）	企画G	前月末～1週間 前まで				
開催当日の進行	企画G・主査	原則、第3木曜 日			(第3木曜)	
議事録作成	企画G・ 主査・連絡係（確認）	1カ月後まで				
議事録Web掲載	Web担当	1カ月後～				
次回以降	次の企画G	次回の2カ月前～	(以下、上と同じ繰り返し)			

# 役割表（見直し後）

	主査	連絡係	Web担当	企画グループ
役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会の運営を連絡係とともに進行</li> <li>・対外的な窓口を担当する</li> <li>・協会関連業務を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンバーへの書連絡を補佐する</li> <li>・その他、主査の補佐</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Webによる情報共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会の企画を立案し実行する</li> <li>※グループごと持ち回りで進行</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間スケジュール策定</li> <li>・企画グループ分けを実施</li> <li>・その他、運営全般を行う</li> <li>① 議事録の確認</li> <li>② 開催報告と会誌への掲載依頼</li> <li>③ 総会資料の作成・提出</li> <li>④ 新規・ビジター参加について事務局へOUG会員か否かを確認し調整する</li> <li>⑤ 講師の招聘や謝礼に関する対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間スケジュール策定の補佐</li> <li>・企画グループ分けの検討の補佐</li> <li>・参加人数と議事録の確認</li> <li>・その他、運営全般の補佐</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催案内掲載</li> <li>・議事録掲載</li> <li>・その他のWeb対応</li> </ul>	<p><b>2カ月前まで：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画を決定する</li> </ul> <p><b>1カ月前まで：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・MLで開催案内を行う</li> <li>・Web掲載用に「タイトル」「講演者」等を主査・連絡係・Web担当に連絡する</li> <li>・資料の対応（Web掲載可否なども確認する）</li> </ul> <p><b>当日：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・司会進行を行う</li> </ul> <p><b>開催後：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議事録を作成する</li> </ul>
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画グループの担当外の月の企画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画グループの担当外の月について企画を立案・実行する</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・対面開催の場合は、早めに主査と連絡係に伝える</li> <li>・演者から参加条件を提示された場合は、事前に主査に相談する</li> </ul>

事務局連絡先：一般社団法人情報科学技術協会 武部竜一様

E-mail：a-l@infosta.or.jp

【お願い】事務局へメール連絡する際は、必ず主査と連絡係もCCに入れて送信してください。

参考：過去の開催内容

# ライフサイエンス分科会 活動① 2023-2024年度

年度	月	回	内容
2024	2月	418	<b>ScopusAI</b>
2024	1月	417	<b>オープンアクセスの最新動向</b> とWileyの取り組み
2024	12月	416	学術文献に関わる <b>著作権</b> について
2024	11月	415	<b>リニューアル</b> されたiyakuSearchのご紹介
2024	9月	414	2024年 <b>JSTシソーラス改訂</b> のご紹介
2024	7月	413	INFOPRO2024 <b>文献データベース</b> におけるデータ収録状況 -MEDLINE Embase Scopus Web of Science CAlus Dimensions JSTPlus
2024	6月	412	INFOPRO準備②
2024	5月	411	INFOPRO準備①
2024	4月	410	<b>JDreamSR</b> 新機能などの紹介
2023	2月	409	医薬品情報標準化推進協議会代表 折井孝男氏 講演「医薬品情報のDX：標準化や国内外事情」
2023	1月	408	<b>検索演題</b> ：2023年度検索検定試験問題を解く
2023	12月	407	<b>引用内容分析</b> サービスSciteのご紹介,
2023	11月	406	<b>生成系AI</b> に関して情報交換
2023	9月	405	日本初 <b>プレプリントサーバ</b> Jxiv (ジエイカブ) のご紹介,
2023	7月	404	INFOPRO2023 内OUG企画「 <b>医学分野のプレプリントの文献データベース</b> 収録
2023	6月	403	INFOPRO2023 発表内容検討②
2023	5月	402	INFOPRO2023 発表内容検討①
2023	4月	401	<b>第400回記念 宮入暢子氏</b> 講演「 <b>学術文献データベースの将来を展望する</b> 」

# ライフサイエンス分科会 活動② 2021-2022年度

年度	月	回	内容
2022	2月	400	EBSCO DynaMedの紹介
2022	1月	399	医中誌Webゆるふわ検索（INFOPRO2022振り返り）、医中誌『医学用語シソーラス』改訂, INFOPRO2022発表外の検証資料)
2022	12月	398	検索演題：2022年度検索技術者検定2級問題を解く
2022	10月	397	Citelineの医薬品・医療機器等の情報サービス、データベースの紹介：Pharmaprojects、Trialtrove 他
2022	9月	396	国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）のNBDC事業について
2022	7月	395	第19回情報プロフェッショナルシンポジウムINFOPRO2022”医中誌Webバージョンアップ～「ゆるふわ検索」の検証～”
2022	6月	394	INFOPRO2022 ディスカッションと発表資料検討
2022	5月	393	INFOPRO2022 ディスカッション2
2022	4月	392	INFOPRO2022 ディスカッション
2021	2月	391	治験薬データベース(Cortellis Competitive Intelligence, Cortellis Drug Discovery Intelligence)について
2021	1月	390	医中誌Web 『医学用語シソーラス』の紹介
2021	12月	389	INFOPRO2021振り返り
2021	11月	388	学術論文のバージョンとプレプリントをめぐる動向（講演）
2021	9月	387	AIを活用した論文調査サービス「JDream SR」の紹介
2021	7月	386	第18回情報プロフェッショナルシンポジウムINFOPRO2021 ”The「医学文献データベース」その中身と違いを検証する（海外編）
2021	6月	385	INFOPRO2021 発表準備②
2021	5月	384	INFOPRO2021 発表準備①
2021	4月	383	INFOPRO2021 テーマ検討のディスカッション

# ライフサイエンス分科会 活動③ 2019-2020年度

年度	月	回	内容
2020	3月	382	コクラン・ライブラリー活用術
2020	1月	381	医中誌アップデート、SLAアップデート（オンラインSLA年会など）
2020	12月	380	Dialogサービス関連の最新情報
2020	11月	379	Pharma Intelligence Center Introductionの紹介、INFOPRO2020Plusの振り返り
2020	9月	378	JST 情報基盤事業部より情報への恒久的なリンクDOIとJapan Link Centerのご紹介
2020	7月	377	第17回情報プロフェッショナルシンポジウム <b>INFOPRO2020Plus The「医学文献データベース」その中身と違いを検証する国内編）</b> その2
2020	6月	376	INFOPRO2020Plus 内でのOUG企画“The「医学文献データベース」その中身と違いを検証する国内編）その2”の事前準備_2
2020	5月	375	INFOPRO2020Plus 内でのOUG企画“The「医学文献データベース」その中身と違いを検証する国内編）その2”の事前準備
2019	2月	374	テクノミック社：「DRUGDEX」をはじめとした「IBM Micromedex」のシステムの紹介
2019	1月	373	研究不正についての講演、医中誌Webアップデート、SLAより最近の話題
2019	12月	372	<b>PubMed勉強会 —MeSH2020年版と新PubMed—（公開講座）</b>
2019	10月	371	<b>PubMedについて</b> （INFOPRO2019より「MEDLINEに収録されている国内医学雑誌の経年分析について」、リニューアルに関する話題
2019	9月	370	<b>東京大学図書館 見学会</b>
2019	7月	369	第16回情報プロフェッショナルシンポジウム <b>INFOPRO2019 The「医学文献データベース」その中身と違いを検証する国内編</b>
2019	6月	368	INFOPRO2019 内でのOUG企画“The「医学文献データベース」その中身と違いを検証する（国内編）”の事前準備
2019	4月	367	株式会社グローバルインフォメーション『メッドデバイストラッカー』、『Epiomic - 疾患・治療区分別患者人口データベース』の紹介

# ライフサイエンス分科会 活動④ 2017-2018年度

年度	月	回	内容
2018	2月	366	検索演題 2018年度検索技術者検定 1級・2級試験問題から
2018	1月	365	<b>電子ジャーナルの著作権</b> について
2018	12月	364	<b>オープンアクセスの動向</b> ～ゴールドOA、グリーンOAそれぞれの立場から～
2018	10月	363	特許分析評価ソリューション LexisNexis PatentSight®の紹介
2018	9月	362	JAPIC : ブルック連携データベース紹介、Globaldata社 : Pharma Intelligence Center紹介
2018	7月	361	リニューアルしたJ-STAGE、JDreamⅢの新機能の紹介
2018	6月	360	クラリベイト・アナリティクス社「ライフサイエンス事例のご紹介」
2018	5月	359	<b>東邦大学 医学メディアセンター本館及び「からだのとしよしつ」の見学</b>
2018	4月	358	業務に役立つ学習 : 学会・研究会・セミナー・講習会の紹介
2017	2月	357	ユサコよりQinsight、Nvivo
2017	1月	356	化学情報協会よりCASRNライセンスプログラム、STNext、SciFinder-n
2017	11月	355	<b>慈恵医大学術情報センター（図書館・標本館・資料館）見学</b>
2017	10月	354	<b>サイボウズ社見学会</b>
2017	9月	353	Elsevier, LexisNexisよりSciVal、PatentStrategies
2017	7月	352	Clarivate Analyticsより学術論文、特許分析ツール
2017	6月	351	Citelineのサービス(PharmaProjectsほか)
2017	5月	350	JSTより17シソーラス改訂、海外誌拡充および <b>機械翻訳・自動索引</b> 、ディスカッション : 仕事における工夫・教育
2017	4月	349	ジー・サーチよりサービス紹介「JDreamIII」、検索演題（前回の続き）

# ライフサイエンス分科会 活動⑤ 2015-2016年度

年度	月	回	内容
2016	2月	348	サンメディアより文献入手サービスARROWの紹介
2016	1月	347	ライフサイエンス辞書ユーザーミーティング報告会、DaiichiSankyoくすりミュージアム見学
2016	11月	346	UMLSと医中誌の関わり、人工知能が先進医療に貢献できるポイント
2016	10月	345	<b>システムティックレビューサーチ</b> に関する文献調査（索引を中心に）、索引についての調査と考察（Barter症候群とGitelman症候群）、話題提供：EmbaseのPICOサーチフォーム
2016	9月	344	iJapanより「Smart Phone, Mobile時代のリモートアクセス-RemoteXsの紹介-」
2016	7月	343	国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)「疾病克服に向けたゲノム医療実現化プロジェクト」-新たに開始したデータシェアリングに向けた試み-
2016	6月	342	30分でわかる <b>メタ解析</b> とRevMan（レブマン）演習
2016	5月	341	病院図書室とエンベディッド・ライブラリアン－ <b>地域包括ケア時代</b> の学術支援－／メディア・ドクター
2016	4月	340	検索演題2015年検索技術者検定1級より・話題提供（添付文書情報）
2015	2月	339	「リンクリゾルバー SFX」「ドキュメントデリバリーサービス Reprints Desk」「文献管理/論文作成支援ソフトウェア EndNote」の紹介
2015	1月	338	JDreamⅢのエンハンス情報および新複写サービスのご紹介等 コラボリー/COLOBORY
2015	11月	337	J-STAGE活用のすすめ ～コンテンツ拡大の取り組みと機能のご紹介～
2015	10月	336	EMBASE、PubMed（MEDLINE）、医中誌Web等を用いた <b>システムティックレビュー</b> の検索方法についての検討とその報告
2015	9月	335	JAPIC医薬品情報総合検索システム PharmaCrossについて
2015	7月	334	STN 新プラットフォームと医薬系データベース
2015	6月	333	検索例題 医薬品について、各国での販売状況を調べる
2015	5月	332	<b>コクラン・ライブラリー</b> について:
2015	4月	331	<b>学術雑誌の諸問題</b> : 高額雑誌に対抗して日本の学術雑誌を世界に普及させる必要性とその方法（講演）

# ライフサイエンス分科会 活動⑥ 2013-2014年度

年度	月	回	内容
2014	2月	330	ネイチャー・パブリッシング・グループ（NPG）事業説明、話題提供（印刷博物館、SLA、シソーラス改訂（医中誌Web,JDreamIII））
2014	1月	329	検索演題
2014	11月	328	医書ジェーピーの紹介「医学・医療の配信に特化した統一プラットホーム構想」、今日の診療、Medical Finderの紹介
2014	10月	327	最近のPubMed/MeSH等の話題について、最近の話題・情報提供
2014	9月	326	<b>著作権</b> について
2014	7月	325	STN アップデート
2014	6月	324	医中誌Web最新情報
2014	5月	323	開発医薬品情報データベース「AdisInsight」の紹介
2014	4月	322	<b>慶應義塾大学信濃町メディアセンター(北里記念医学図書館)の見学</b>
2013	3月	321	ProQuestDialog
2013	2月	320	Wikipediaについて
2013	1月	319	病名と対象疾患照合DB, webAPIについて, <b>JAPIC図書館見学</b>
2013	12月	318	検索演習／リンク集の見直し／情報交換（PubMed, その他, ライフサイエンス関連サイトのアップデート）
2013	11月	317	<b>剽窃（盗用）の現状と問題解決</b> 採用されたCrosscheckを中心としたiThenticateの紹介, リンク集の更新
2013	10月	316	SLA2013トピックス, Webサイトのリンク集改修
2013	9月	315	<b>著作権</b> について
2013	7月	314	NBDC「ライフサイエンス新着論文レビュー」「ライフサイエンス領域融合レビュー」Allie,OReFiL,TogoDocSuite,inMeXes
2013	6月	313	STNライフサイエンス系データベースの強化
2013	5月	312	JDreamIII
2013	4月	311	<b>印刷博物館見学</b>

# ライフサイエンス分科会 活動⑦ 2012年度

年度	月	回	内容
2012	3月	310	検索演題
2012	2月	309	AdisInsight
2012	1月	308	Medtrack バージョンアップ
2012	12月	307	医中誌Web Ver.5バージョンアップ
2012	11月	306	OvidSP: 検索プラットフォームの真価－搭載コンテンツを含む開発の方向性
2012	10月	305	SLA 2012 Annual Conference & INFO-EXPO
<b>2012</b>	<b>9月</b>	<b>304</b>	<b>第300回記念講演「Publish or Perish 研究発表倫理を確立するために」 愛知淑徳大学人間情報学部教授 山崎 茂明先生</b>
2012	7月	303	科学技術情報発信・流通総合システムの状況
2012	6月	302	STN 医薬系データベースの強化
2012	5月	301	学術情報の動向（講演）
2012	4月	300	検索演題